

<報告>

1. 総会とわくわくスリランカ文化講座第1回

4月14日(日)午後1時から名古屋市女性会館で総会を行い、その後理事の李大義さんの講演を拝聴しました。

題目は『サムスの戦略と日本の家電王国復活のシナリオ』でした。大変興味深いお話しでした。李さん、ありがとうございました。



2. セイロン瓜のオーナーになりました。

鈴鹿国際大学のクマール教授(学長補佐)は、通称「へびうり」を「セイロン瓜」と改名し、これをJA鈴鹿と連携して、全国に普及させようと頑張っている。5月18日(土)に公開講座『セイロン瓜栽培ワークショップ』が開催され、オーナーの募集がありました。スバ・ランカ協会の会員であり、三重県支部長を引き受けて下さっている三木徹さんが出席し、スバ・ランカ協会としてオーナーの申し込みをして下さいました。これは、鈴鹿国際大学の敷地内にセイロン瓜を植栽し、週1回の水やりをして育てていくプロジェクトです。三木さんを中心に、鈴鹿市在住の会員、木村芳雄さん、鈴鹿国際大のスリランカからの留学生ガヤトゥリさんにも協力してもらい、協会として、セイロン瓜を栽培していくことにしました。鈴鹿にお立ち寄りの際は、ぜひ見てやってください。

スバ・ランカ協会の立て札は写真撮影用に立てたものです。普段は、NO.3 の立て札のみです。セイロン瓜ってどんな野菜と思われているでしょうね。以下のyoutubeをご覧ください。

<http://www.youtube.com/watch?v=0HDn7tUWBao>



3. カレー教室を、5月26日(日)午前10時~12時半まで名古屋東区生涯学習センターで行いました。15名の方が参加して下さいました。今年は、野菜カレーとして「にんじんカレー」を作りました。おいしかったですよ。残念ながら、個人情報保護の観点から、写真は掲載できません。みなさんの了解取る時間がありませんでした。

4. 今年も辞書を輸送しました。

6月2日にスリランカ輸送の専門店、トライコが引き取りに来ました。辞書は150冊ほど集まりました。お送りいただいた方々には心から感謝いたします。中でも、大阪で高校教師をされているMさんは、「昨年、身体障害者手帳の交付を受けて、この春、確定申告でいつもより多い還付金がありましたので、送料としてお使いください。」と2万円を下さいました。Mさんは、使われなくなった辞書にご自身を重ねてみえ、辞書贈呈によって再度使われるようになることに特別の思いをお持ちです。そのご心情に思いを致し、紹介させていただきました。また、埼玉蓮田市の鈴木さんからも送料としてご寄付を頂きました。さらに、越谷市の桜井さんからは毎年数十冊をお送りいただいています。そのほか、東京のゆうきさん、尼崎市の久光さん、東京の矢澤さん、新潟県の徳橋さん(てふてふNAIL)、調布市の上さんからお送りいただきました。特に、秦健二さん(阿南高専・徳島)は今後もこの活動に尽力して下さいとのこと。みなさん、ありがとうございました。辞書とともに、岡崎ニュース編集室、NPO法人「アースアザーマザーズ」が集めて下さったクレヨン等も輸送しました。感謝!



5. インド・タミル人児童の識字学級の校舎建設が始まりました。

これは、『東南アジアに学校を造る会』(和歌山県新宮市宝珠寺)から頂いた30万円の寄付で建てられる新しい教室です。スリランカでは、建設の初めに、ムルガラと呼ばれる石を地中に埋めて工事の無事を祈ります。石を穴に置き、その周りにセメントをかける時、僧がお経を唱えます。日本の地鎮祭と同じようなものですが、神主ではなく、僧侶に係る点がスリランカらしさです。写真の黄色の衣で座っているのが



この建築のコーディネーターであるヴィパッシ和尚です。インドタミルの児童は一般的にはヒンドゥー教徒ですが、こだわりはありません。



<連絡>

1. スリランカの真珠日本語センターからのお願い

ここは、昨年、スバ・ランカ企画の日本語教育ボランティア・ツアーの時に訪れた日本語の専門学校です。生徒の活動の一つとして、9月に日本語・日本文化の展示会を行います。校長のカーンチャナ先生から、『使ったあとの、捨てる古いもので本当にいいですから、日本グッズを下さいませんか。』というメールが届きました。(壁にかけられるもので)使用済み切手、相撲の絵やポスター、古いカレンダー(日本的な写真のある)、歌舞伎や能などの絵・写真、日本の地図、天皇様の写真、お年玉の袋、結婚式やお葬式の封筒、絵馬やおみくじ、かけじく など。(置物や使う物で) 門松(ミニチュア)、招き猫、ゆかた、せんす、ふうりんなど。〒487-0006 春日井市石尾台4-2-20 大岩まさる 0568-92-0955 までお送りください。

2. 会費のお振り込み 現在、74名の会員の方々が会費をお振り込みくださいました。会員のご継続に心から感謝しています。ありがとうございます。今年も支援してもよいとお考えで、お振込を、「そう言えば忘れていた。」という方は、お忙しい中申し訳ありませんが、お振込のほどよろしく願いいたします。

3. スリランカへ 大岩は7月21日にスリランカに発ちます。3カ月くらい滞在し、スバ・ランカ協会の活動をして来ます。真珠日本語センターへの贈り物を、そして、頂いた会費と寄付金をより多く、持参できれば幸いです。

4. 春日井 暮らしのニュースでスバ・ランカのことが取り上げられました。以下をお読みください。

記事を書いてくださったのはフリーの記者で、岡村久美子さんです。もちろん、協会は私だけでできるものではありません。こうして活動していけるのも役員、会員の皆さんのお力があってこそです。今後ともよろしく願いいたします。



以上です。(文責:大岩碩)